議 事 日 程

- 日程第1 常任委員の選任
- 日程第2 議会運営委員の選任
- 日程第3 議案第36号 瑞穂市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について
- 日程第4 議案第37号 中部圏都市開発区域の指定に伴う瑞穂市固定資産税の不均一課税に関する条例を廃止する条例について
- 日程第5 議案第38号 瑞穂市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例及び瑞穂市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第6 議案第39号 平成26年度瑞穂市一般会計補正予算（第1号）

○本日の会議に付した事件

- 日程第1から日程第6までの各事件
- 追加日程第1 議長辞職の件
- 追加日程第2 議長の選挙
- 追加日程第3 副議長辞職の件
- 追加日程第4 副議長の選挙

○本日の会議に出席した議員

1番	堀	武	2番	くまがいさちこ
3番	西岡	一成	4番	庄田昭人
5番	森	治久	6番	棚橋敏明
7番	広瀬	武雄	8番	松野藤四郎
9番	広瀬	捨男	10番	古川貴敏
11番	河村	孝弘	12番	清水治
13番	若井	千尋	14番	若園五朗
15番	広瀬	時男	16番	小川勝範
17番	星川	睦枝	18番	藤橋礼治

○本日の会議に欠席した議員（なし）

○欠員（1名）

○本日の会議に説明のため出席した者の職・氏名

市 長	堀 孝 正	副 市 長	奥 田 尚 道
教 育 長	横 山 博 信	企 画 部 長	森 和 之
総 務 部 長	早 瀬 俊 一	市 民 部 兼 巢南庁舎管理部長	広 瀬 充 利
福 祉 部 長	高 田 薫	都 市 整 備 部 長	弘 岡 敏
調 整 監	渡 辺 勇 人	環 境 水 道 部 長	鹿 野 政 和
会 計 管 理 者	宇 野 清 隆	教 育 次 長	高 田 敏 朗

○本日の会議に職務のため出席した事務局職員

議会事務局長	田 宮 康 弘	書 記	泉 大 作
書 記	今 木 浩 靖		

開議の宣告

○議長（星川睦枝君） 皆さん、おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

本日の議事日程に入る前に一言申し上げます。

私は、一身上の都合により、議長の職を辞したいので、先ほど、議長の辞職願を副議長に提出しました。

皆さんにこの1年間お世話になりまして、ありがとうございます。

私もふなれでございましたが、私なりにこの1年、皆様方のお力添えをいただき、それなりに努力したつもりではございますが、皆様方から見られまして不行き届きのところも、ただただあったかろうと思います。その点につきましては、お許しを願ひまして、本当に皆さんのお力ありがとうございました。この1年本当にお世話になりました。ありがとうございます。

（拍手）

お諮りします。ここで議長辞職の件を日程に追加し、追加日程第1として、議題とすることに御異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（星川睦枝君） 異議なしと認めます。したがって、議長辞職の件を日程に追加し、追加日程第1として、議題とすることに決定をいたしました。

これより、私の一身上の事件に関しますので、地方自治法第117条の規定によって除斥のため退場することとし、副議長と交代します。ありがとうございます。

〔議長 星川睦枝君 退場〕

〔副議長 棚橋敏明君 議長席に着席〕

○副議長（棚橋敏明君） おはようございます。

議長が不在の間、地方自治法第106条第1項の規定により、私が議長の職務を行います。円滑な議事運営に御協力いただきたいと思います。

追加日程第1 議長辞職の件

○副議長（棚橋敏明君） それでは、追加日程第1、議長辞職の件を議題にします。

お諮りします。星川睦枝君の議長辞職を許可することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○副議長（棚橋敏明君） 異議なしと認めます。したがって、星川睦枝君の議長辞職を許可することに決定しました。

追加日程第1、議長辞職の件が終了しましたので、星川睦枝君の入場を許可いたします。

〔議長 星川睦枝君 入場・着席〕

○副議長（棚橋敏明君） 星川睦枝君に申し上げます。

星川睦枝君が議長を辞職することは許可されました。

ただいま議長が欠けました。

お諮りいたします。ここで議長選挙を日程に追加し、追加日程第2として選挙を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○副議長（棚橋敏明君） 異議なしと認めます。したがって、議長の選挙を日程に追加し、追加日程第2として選挙を行うことに決定いたしました。

追加日程第2 議長の選挙

○副議長（棚橋敏明君） 追加日程第2、議長の選挙を行います。

議事の都合により、しばらく休憩いたします。

休憩 午前9時08分

再開 午前9時25分

○副議長（棚橋敏明君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長の選挙は投票で行います。

議場の出入り口を閉めてください。

〔議場閉鎖〕

○副議長（棚橋敏明君） ただいまの出席議員数は18名です。

次に、立会人を指名いたします。

会議規則第30条第2項の規定によって、立会人に議席番号15番 広瀬時男君と、16番 小川勝範君を指名します。

ただいまより投票用紙を配ります。

念のために申し上げます。投票は単記無記名です。

〔投票用紙配付〕

○副議長（棚橋敏明君） 確認します。投票用紙の配付漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○副議長（棚橋敏明君） 配付漏れなしと認めます。

投票箱の点検をただいまより行います。

〔投票箱点検〕

○副議長（棚橋敏明君） 投票箱、異状なしと認めます。

ただいまから投票を行います。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、1番議員から順番に投票をしてください。

〔投票〕

○副議長（棚橋敏明君） 確認します。投票漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○副議長（棚橋敏明君） 投票漏れなしと認めます。

投票を終わります。

ただいまより、開票を行います。

立会人は開票の立ち会いをお願いいたします。

〔開票〕

○副議長（棚橋敏明君） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数18票、有効投票18票、無効投票ゼロ票。

有効投票のうち、若園五朗君13票、松野藤四郎君5票、以上のおりでございます。この選挙の法定得票数は5票です。したがって、若園五朗君の議長当選が決定いたしました。

議場の出入り口を開きます。

〔議場開鎖〕

○副議長（棚橋敏明君） ただいま議長に当選されました若園五朗君が議場におられます。

会議規則第31条第2項の規定によって、当選の告知をします。

若園五朗君は登壇し、御挨拶をお願いします。

〔新議長 若園五朗君 登壇〕

○新議長（若園五朗君） 議席番号14番 若園五朗、新生クラブ。

副議長の発言の許可がありましたので、議長の就任の挨拶を述べさせていただきます。

ただいま皆様方の御推挙をいただきまして、瑞穂市議会の議長に就任させていただくことになりました。身に余る光栄であり、心から感謝を申し上げます。同時に、その任務の重さを痛感するところであります。本日より議員各位の御指導、御鞭撻をいただき、本市の発展と、公平で公正な議会運営のために、誠心誠意努力してまいりたいと思います。また、執行部各位におかれましても、より一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

○副議長（棚橋敏明君） これで私の職務は全部終了いたしました。

御協力ありがとうございました。

若園議長、議長席にお着きくださいませ。

〔副議長 棚橋敏明君 降壇〕

〔議長 若園五朗君 議長席に着席〕

○議長（若園五朗君） これより、私が議長の職務を務めさせていただきます。

何とぞ今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

議事の都合により、しばらく休憩します。

休憩 午前9時36分

再開 午前9時49分

○議長（若園五朗君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまの休憩時間中に、棚橋敏明君から副議長の辞職願が提出されました。

この件について、棚橋敏明君から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

棚橋敏明君。

○副議長（棚橋敏明君） 議席番号6番の棚橋敏明でございます。

星川睦枝議長とともにこの1年間、議長、そして私、副議長として務めさせていただきました。余りにも本当に短い1年間だったなあという気持ちが物すごくします。それと同時に、この1年間学んだこと、これをこれからいろんなことで、各常任委員会、またそれぞれの中において、また生かしていきたいと思ひます。

まずは皆様、本当にこの1年間、私、棚橋敏明を支えていただきまして、精いっぱい、私なりに副議長を務めることができたと思ひます。これも皆様のおかげだと思っております。どうも本当に皆様、支えていただきましてありがとうございました。どうも1年間お世話になりました。（拍手）

○議長（若園五朗君） お諮りします。ここで副議長の辞職の件を日程に追加し、追加日程第3として議題とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 異議なしと認めます。したがって、副議長辞職の件を日程に追加し、追加日程第3として議題とすることに決定しました。

追加日程第3 副議長辞職の件

○議長（若園五朗君） 追加日程第3、副議長辞職の件を議題にします。

地方自治法第117条の規定によって、棚橋敏明君の退場を求めます。

〔副議長 棚橋敏明君 退場〕

○議長（若園五朗君） お諮りします。棚橋敏明君の副議長辞職を許可することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 異議なしと認めます。したがって、棚橋敏明君の副議長辞職を許可することに決定しました。

追加日程第3、副議長辞職の件が終了しましたので、棚橋敏明君の入場を許可します。

〔副議長 棚橋敏明君 入場・着席〕

○議長（若園五朗君） 棚橋敏明君に申し上げます。

棚橋敏明君が副議長を辞職することは許可されました。

ただいま副議長が欠けました。

お諮りします。ここで副議長の選挙を日程に追加し、追加日程第4として選挙を行いたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 異議なしと認めます。したがって、副議長の選挙を日程に追加し、追加日程第4として選挙を行うことに決定しました。

追加日程第4 副議長の選挙

○議長（若園五朗君） 追加日程4、副議長の選挙を行います。

議事の都合により、しばらく休憩します。

休憩 午前9時53分

再開 午前10時10分

○議長（若園五朗君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

副議長の選挙は投票で行います。

議場の出入り口を閉めます。

〔議場閉鎖〕

○議長（若園五朗君） ただいまの出席議員数は18名です。

次に、立会人を指名します。

会議規則第30条第2項の規定によって、立会人に議席番号17番 星川睦枝君、18番 藤橋礼治君を指名します。

投票用紙を配ります。

念のため申し上げます。投票は単記無記名で行います。

〔投票用紙配付〕

○議長（若園五朗君） 投票用紙の配付の漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 配付漏れなしと認めます。

投票箱の点検をします。

〔投票箱点検〕

○議長（若園五朗君） 異状なしと認めます。

ただいまから投票を行います。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、1番議員から順番に投票をお願いします。

〔投票〕

○議長（若園五朗君） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 投票漏れなしと認めます。

投票を終わります。

開票を行います。

立会人は開票の立ち会いをお願いします。

〔開票〕

○議長（若園五朗君） 選挙の結果を報告します。

投票総数18票、有効投票18票、無効投票ゼロ票です。

有効投票のうち、くまがいさちこ君5票、清水治君13票、以上のとおりです。

この選挙の法定得票数は5票です。したがって、清水治君が副議長に当選されました。

議場の出入り口を開きます。

〔議場開鎖〕

○議長（若園五朗君） ただいま副議長に当選されました清水治君が議場におられます。

会議規則第31条第2項の規定によって、当選の告知をします。

清水治君は登壇し、御挨拶をお願いします。

清水治君。

〔新副議長 清水治君 登壇〕

○新副議長（清水 治君） 議席番号12番、清流クラブの清水治です。

ただいま議長の発言の許可をいただきましたので、ただいま行われました副議長選挙の当選ということで、お礼の挨拶をさせていただきたいと思っております。

先ほど所信表明でも述べましたように議長のもと、しっかりした議会運営を円滑に運営できるよう誠心誠意頑張っていきたいと思っておりますので、また市民の負託が得られるよう頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも議員各位の御支援、御協力をお願い申し上げまして、当選の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

日程第1 常任委員の選任

○議長（若園五朗君） 日程第1、常任委員の選任を行います。

議事の都合により、しばらく休憩します。

休憩 午前10時21分

再開 午前10時38分

○議長（若園五朗君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りします。常任委員の選任については、委員会条例第8条の規定によって、総務委員会に西岡一成君、星川睦枝君、小川勝範君、若井千尋君、庄田昭人君、河村孝弘君の以上の6名を指名します。産業建設委員会に藤橋礼治君、松野藤四郎君、広瀬時男君、若園五朗、堀武君、清水治君、以上の6名を指名します。文教厚生委員会に広瀬捨男君、くまがいさちこ君、広瀬武雄君、棚橋敏明君、森治久君、古川貴敏君の以上の6名を指名したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 異議なしと認めます。したがって、常任委員はただいま指名しましたとおり選任することに決定しました。

これにより常任委員会の委員長及び副委員長の互選を行っていただきたいと思います。

総務委員会は議会図書室、産業建設委員会は正副議長室、文教厚生委員会は第2議員会議室をお使いください。なお、委員会条例第10条第2項の規定により、委員長が互選されるまでの間は、年長の委員が委員長の職務を行うことになっておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、しばらく休憩いたします。

休憩 午前10時41分

再開 午前10時54分

○議長（若園五朗君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

各常任委員長及び副委員長が決定しましたので、御報告します。

総務委員会委員長 若井千尋君、副委員長 庄田昭人君。産業建設委員会委員長 藤橋礼治君、副委員長 広瀬時男君。文教厚生委員会委員長 棚橋敏明君、副委員長 古川貴敏君。以上のとおりです。

日程第2 議会運営委員の選任

○議長（若園五朗君） 日程第2、議会運営委員の選任を行います。

議事の都合により、しばらく休憩します。

休憩 午前10時55分

再開 午前11時05分

○議長（若園五朗君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

お諮りします。議会運営委員の選任については、委員会条例第8条の規定によって、星川睦枝君、小川勝範君、若井千尋君、古川貴敏君、くまがいさちこ君の以上5名を指名したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 異議なしと認めます。したがって、議会運営委員は、ただいま指名しましたとおり選任することに決定いたしました。

これより、議会運営委員会の委員長及び副委員長の互選を行っていただきたいと思います。

議会運営委員は、第2議員会議室に御参集ください。なお、委員会条例第10条第2項の規定により、委員長が互選されるまでの間は、年長の委員が委員長の職務を行うことになっておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、しばらく休憩します。

休憩 午前11時07分

再開 午前11時12分

○議長（若園五朗君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議会運営委員会の委員長に小川勝範君、副委員長に古川貴敏君が決定されましたので、御報告します。

日程第3 議案第36号について（質疑）

○議長（若園五朗君） 日程第3、議案第36号瑞穂市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定についてを議題とします。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

日程第4 議案第37号について（質疑）

○議長（若園五朗君） 日程第4、議案第37号中部圏都市開発区域の指定に伴う瑞穂市固定資産税の不均一課税に関する条例を廃止する条例についてを議題とします。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

日程第5 議案第38号について（質疑）

○議長（若園五朗君） 日程第5、議案第38号瑞穂市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例及び瑞穂市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「質疑なし」の声あり〕

○議長（若園五朗君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

日程第6 議案第39号について（質疑）

○議長（若園五朗君） 日程第6、議案第39号平成26年度瑞穂市一般会計補正予算（第1号）を議題とします。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔挙手する者あり〕

○議長（若園五朗君） くまがいさちこ君。

○2番（くまがいさちこ君） 議席番号2番、改革のくまがいさちこです。

私は一般会計補正予算について、質疑をいたします。

8ページ、款民生費、項児童福祉費、目保育所費が2,195万2,000円ございます。賃金、工事費、備品購入となっておりますが、行政担当課からの御説明では、待機児童27人に対応する補正とお伺いしております。これにつきましては、先ほどもちょっと発言いたしましたが、岐阜県内で瑞穂市だけ、ほかにも人口増のところもあるけれど、待機児童は瑞穂市だけとなっております。これは県が発表したものでございます。それで、県は待機児童の解消を目指すとっております。非常に影響が大きい。そして、これも先ほど申し上げましたが、ルーチンワークというか、日常的に行政がやらなければならない業務、対応しなければならない業務、人口増に対応しなければならないということは明らかなのに、こういう事態になったと。およそ2,200万という予算だったら、もっと早く対応できたのではないかと思います。なぜこうなったのかをお聞きいたしたいと思います。以上です。

○議長（若園五朗君） 高田教育次長。

○教育次長（高田敏朗君） ただいまの御質問にお答えをいたします。

これにつきましては、毎年、保育所の入所受付事務を9月いっぱいするわけですが、その時点で、どれだけ皆さんが入所されるのかというのを、そこで把握できます。その後も、期間が過ぎてからも、また随時受け付けるわけですが、3歳以上の園児につきましては、

それなりに各保育所のほうに、ここがあいてますということで御紹介はさせていただいておさまるんですが、未満児の対応につきましては、お母さん方、その9月の時点で就職するということが決まっていなかったかということ、その時点では数的には余り出てこないんですけども、それが3月に近づくにしがって、会社をやめられて保育が必要なくなったという人、新たに就職することになったからということで、保育が必要になってくると、その入れかわりが大変非常に激しいということで、担当のほうでも3月ぎりぎりまでその対応、待機児童がゼロになるようにということで、一生懸命やっていたという報告は聞いておりますが、どうしても3月もぎりぎり、それが対応できなくなったということで、先ほど議員が言われましたように、当初予算に反映できなかったのかという御質問については、職員も3月いっぱいまで待機児童がゼロになるように職務をしておりましたが、できなかったというのが経緯でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（若園五朗君） くまがいさちこ君。

○2番（くまがいさちこ君） ただいまの御答弁によりますと、当事者、特に未満児を持った親の事情の変更などにより対応できなかったと、こういうことでございますね。

新聞では、これは多分市に取材して、市が答えたことがもとになっていると思いますが、「市教委幼児支援課によると、新興住宅地に子育て世帯の転入が相次いでいることが要因」と、このように書かれました。子育て世帯の転入が相次いだじゃないんですよね。相次いでいる、つまり依然としてずうっと続いているという意味ですね。ということですから、当事者の事情の変更とか急にそういう該当者の転入がふえたということではございませんね。

もう瑞穂市は人口がふえている、若い世代がふえているということはわかっているわけですから、こういう事態になるということは当然予測できている、対応しなければならない。議員からも対応しなければならないと、一般質問を非常に丁寧になさった議員もいらっしゃいました。民主党の松野議員は特になさいましたが、それに何ら対応することなく、こういう事態を招いたわけです。

ここに小・中学校、推定児童・生徒数、瑞穂市の教育総務課が24年6月に出したものです。非常に細かくよくこれだけのお仕事をなさったなと思ったぐらいの表が、各学校全部出ています。これは平成25年以降だから、昨年ですね、1年前以降の1歳の出生数は、平成23年度第1次総合計画後期基本計画の資料として作成した、企画財政課の人口推計を使用していると、このようになっています。そして、多分この企画財政課の人口推計というのは、平成25年3月がネットでは最新なんです、国立社会保障・人口問題研究所が向こう30年間の人口推計を出しています。0歳から90歳以上まで、5歳刻みで瑞穂市の人口がどれだけふえていくかという推計を出しています。多分これをもとに全部つくられたんじゃないかと思うんですが、であるならば、この小・中学校、これは施設に対応するためにつくったんだと思うんですが、0歳から

未満児だと3歳未満ですね。ポイントだけ今言いますと。これの推計も、当然幼児支援課はつくらなければならなかった、対応してこなければならなかったと思うんですが、この点はいかがですか。こういう推計は、幼児支援課ではつくってあるんでしょうか。0歳から未満児ですね、3歳未満の。

○議長（若園五朗君） 高田教育次長。

○教育次長（高田敏朗君） 24年のときからこの人口推計というのは、教育総務課でも独自につくってありまして、当然0歳から何人いるかということ把握していないとその小学校に対応できないということで、それは前からその数字については把握しておりました。

〔挙手する者あり〕

○議長（若園五朗君） くまがいさちこ君。

○2番（くまがいさちこ君） 把握していながら、当初予算にも上げず、対応してこなかったのはなぜですか。

○議長（若園五朗君） 高田教育次長。

○教育次長（高田敏朗君） 未満児の待機児童というのは、25年の4月にも8人出て、その前、二、三年はゼロだったんですね。その前にも、実は待機児童ということを出たときがありました。そのときも、何とかその後もゼロになって、ずうっとゼロの年が続いて、昨年8になったということで、これについても、国のほうが女性の社会進出ということで、ああやって非常に推進しておりますので、その影響もあるのかと思いますけど、まだまだ瑞穂市の中で急激に伸びてくるというふうに考えてこなかったところが、当初予算に対応できなかったということだと考えています。

〔挙手する者あり〕

○議長（若園五朗君） くまがいさちこ君。

○2番（くまがいさちこ君） 先ほど副議長選挙の所信表明で申し上げましたとおり、市民の日常生活を支えるという業務以外のところで、教育委員会は大変お忙しかったので、できなかったのだからと私は推しはかるわけですが、もう1年後、4月1日現在が出るわけですね。27人については30人まで対応すると言っているわけですから、今後急激にじゃなくて、こういう希望がふえるということにつきましては、どのように考えられますか。来年度以降という意味で。

○議長（若園五朗君） 高田教育次長。

○教育次長（高田敏朗君） 昨年8人で、ことし27人ということで、これは必ずふえるということがわかりますので、27人についてはことしじゅうに予算も上げておりましたので、これを認めていただいて対応したい。27人につきましては、さらにまた未満児に対応できる保育所がまだほかにもありますので、その施設について今年度中に検討して来年に対応したいということ

は考えております。

[挙手する者あり]

○議長（若園五朗君） くまがいさちこ君。

○2番（くまがいさちこ君） 来年にじゃなくて、来年度以降にですね。

人口推計、さっき申し上げました国立社会保障・人口問題研究所の推計によると30年後まで出ているわけですが、この瑞穂市がつくった小・中学校の表、人口推計の表は私たちにも渡されているわけで、これを見ますとピークが今から15年後、ほぼ2030年から31年、32年に15歳以下、いわゆる児童の人口がピークになります。ここを乗り切れれば何とかなる。人口がふえなくなっても預ける人がふえるかもしれませんから、イコールではないんですけど、でも、大体この辺がピークかなあと。そうすると何人分対応しなければならないかが行政としては推計できると思うんです。ぜひそのように、長期見通しのもとに計画を立てていただきたいと思います。

これだけの推計の表がつかれる教育委員会であり、瑞穂市の行政なわけですから、やろうと思ったら、きっとできると思うんです。ぜひお願いしたいと思います。

もうちょっと具体的な個別のことにつきましては、一般質問でさせていただきます。以上でございます。

○議長（若園五朗君） ほかに質疑はありませんか。

[挙手する者あり]

○議長（若園五朗君） 堀武君。

○1番（堀 武君） 堀武、質問をさせていただきます。

農業振興費の補正前の額が3,442万6,000円ですか、補正が140万で、負担金を補助及び交付金で一般財源から140万してあるんですけども、なぜ140万ふえたのか、割と大きい金額なものですから、その負担金がふえたわけをお聞かせ願いたいと思います。

○議長（若園五朗君） 弘岡都市整備部長。

○都市整備部長（弘岡 敏君） 堀議員の御質問にお答えいたします。

会派の説明会でも申し上げたと思いますが、岐阜県の農地・水・環境保全推進協議会負担金というものを、当初から上げさせていただいておるものでございますが、その交付金の内容が変わりまして、その中での交付金の名前も、以前は農地・水保全管理支払交付金という名前から多面的機能支払交付金という名前に変わった交付事業でございまして、変わった内容といたしまして、交付金の区分の使途が農地維持支払いのもの、それから資源向上支払い、共同活動のもの、資源向上支払い、長寿命化の3つの使途のために出される交付金でございまして、これに関しまして、その交付金の単価が対象となるものは、農用地面積、農振エリアでの農用地面積、田畑でございます。その単価が変わったというものでございます。

[挙手する者あり]

○議長（若園五朗君） 堀武君。

○1番（堀 武君） 多額な補助金が出ておるものですから、これに対する会計面とか云々のチェックに関しては、行政側としてどのようにタッチしているのか。極端なことを言いますと、この組み分け全てをしているのか。例えば極端なことやないけど、どこかでその作業によって一括発注を、一括ではないけど、発注業務をしているのか。民間に関して補助金を出している以上は、どの程度に把握を確実にしているのか、その辺の答弁をお願いします。

○議長（若園五朗君） 弘岡都市整備部長。

○都市整備部長（弘岡 敏君） この交付金の申請のほうに関しましては、今議員が申されたように、瑞穂資源管理組合のほうへ交付金が行くものでございますが、その会計と事業の内容は、県、それから、私どもの商工農政課のほうで監査のほうですね、それから書類審査、それから帳簿等は行っております。

[挙手する者あり]

○議長（若園五朗君） 堀武君。

○1番（堀 武君） その帳簿等に関しては、監査のみで、極端な言い方をすると、議員として公文書に対する請求をした場合に閲覧ができるのか、それともそれは閲覧できないものなのか、その辺のことについて、お尋ねいたします。

○議長（若園五朗君） 弘岡都市整備部長。

○都市整備部長（弘岡 敏君） この事業に関してのものでございますので、その部分に関しましては、閲覧は、その部分に関しましては可能だと考えております。

[挙手する者あり]

○議長（若園五朗君） 堀武君。

○1番（堀 武君） その閲覧は、組合のほうへ行けばという意味なのか、それとも行政側の商工農政課のほうでわかるのか、その辺のことを答弁願います。

○議長（若園五朗君） 弘岡都市整備部長。

○都市整備部長（弘岡 敏君） この組合というのは、市民団体等々でつくられておる組合でございますので、流れからいきますと、その母体である県農地・水・環境保全推進協議会というものがございます。そこを管轄しているのが、県の農政局のほうでございますので、その部分も県のほうが4分の1、市と同額とさせていただければいいものでございますが、そこ一緒に申請は市のほうへ出てきますので、それから県のほうへ出すというものでございますので、市のほうは4分の1負担金を出しておるものでございますので、その分についての事業の監査をやるというものでございますので、商工農政課のほうにも書類はございます。

[挙手する者あり]

○議長（若園五朗君） 堀武君。

○1番（堀 武君） 私は補正やなくて、この補助金の金額を聞いているのではなくて、使用中の問題が発生するものですから、それに関して、情報公開条例とかで申請を出して見ることができるものなら、そのような方法も1つあるんだろうと思うし、なぜかと言うと、今補助金の出しっ放しとは言いませんけれども、やはりその辺のことを明瞭なことをされているなら、それ相応のものを閲覧もしたいし、その方法論が市のほうに監査請求されることができるならしたいなと思っております。直接、議員としての調査ができるものなら、その辺のことではないなと思っておるものですから、お聞きしておるわけです。

あくまでも補助金を市から受け取っている以上は、やはりその辺のことで、明確な形でしていただくのは当然のことなものですから、お聞きしているわけです。その辺、答弁願います。

〔発言する者あり〕

○1番（堀 武君） だから行政側に対して、私、議員として、補助金が出ている以上はその帳簿なりその辺のことが、補助金でなくて使用のほうに関して閲覧ができるのかどうか、情報公開条例に基づいて市のほうに請求ができるのか、それともそれはできないのか。市のほうで確実に使用に関してチェックをしておるのか、その辺のことをお聞きしているわけです。

補助金を出しているほうに関しては、今言うように4分の1の理屈はわかるんですけど、この使用に関して、いろいろ項目を部長は言っておられるものですから、その使用内容に関して閲覧が可能なのか、それともその辺のことがどうなのか、お聞きしたいと思つての質問です。以上です。

○議長（若園五朗君） 弘岡都市整備部長。

○都市整備部長（弘岡 敏君） 瑞穂資源環境組合の事業のものが出てきますね。この間の4月30日やったと思いますけど、組合の総会等もございまして、そこの中での25年度の事業報告、先ほど申した書類検査とかその前のときではやっておりますので、まず申請書が出てきてから、この事業に対しては、先ほど言った県の団体のほうから支出は行くわけなんです。私どもの負担金もその団体のほうへ支払いはする。そこから瑞穂資源環境組合のほうへ、4分の1、4分の1、2分の1を1といたしまして、その財源で事業費をいただくというものでございますので、御理解のほどをお願いいたします。

その事業の内容というのは、先ほども言っておったように、どういう内容であるかというのが、さっき申しました3つの事業、農業の維持の支払いのもの、それから資源向上で使われる共同活動のもの、それから長寿命化に伴う等のものが事業として出てきますので、その事業がどういうものであったかというのは、私のほうでもわかっております。

〔挙手する者あり〕

○議長（若園五朗君） 堀武君。

○1番（堀 武君） では、私のほうから正式にお願いをすれば、その資料は公開していただけるということですね。それだけ確認をしまして、質問を終わりたいと思っています。その答弁だけお願いします。

○議長（若園五朗君） 弘岡都市整備部長。

○都市整備部長（弘岡 敏君） はい、出せます。

○議長（若園五朗君） ほかに質疑はありませんか。

[挙手する者あり]

○議長（若園五朗君） くまがいさちこ君。

○2番（くまがいさちこ君） 発言訂正をお願いいたします。

先ほど人口推計のことを述べましたときに、間違ったか、または曖昧だったと思いますので、きちんと訂正しておきたいと思います。

国立社会保障・人口問題研究所の「今後30年間」というのは、今後じゃないです。正確には、2010年から30年後の2040年までの人口推計によれば、2010年から20年後の2030年、つまり今からいくと15年後ですね、に瑞穂市の人口はピークを迎えるとなっています。これは5年ごとになっていますので、正確に2030年じゃなくて2031年とか2年ぐらいも入っていると思います。その前後も入っております。大体5万4,000人となっていますが、もうちょっと私はふえるんじゃないかなと思います。

これを先ほど述べたわけですが、今回の待機児童に関する子供の年齢の推計は、何とちゃんと見ましたら5年後ですね。中学生までの人口のピークは2020年、今2016年ですからピークです。それで市の教育委員会が出している小・中学校の人口推計もこれと一致しております、もちろん。つまり、待機児童につきましては、今後ほぼ5年後にピークだと。ただこれは先ほど言いましたように、人口と必要とする人とは一致しませんので、それだけを根拠にできませんけど。ということで、総人口と子供の年齢とのピークが違うので、そこだけ訂正よろしく願います。

○議長（若園五朗君） ほかに質疑はありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（若園五朗君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第36号から議案第39号までは、会議規則第37条第1項の規定により、お手元の配付した議案付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託します。

散会の宣告

○議長（若園五朗君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

散会 午前11時49分